



～学校教育目標～

様似を愛し 自ら考え 進んで学ぶ子

知：主体的に学び仲間と学び合える子

徳：心豊かで挨拶のできる子

体：心身ともに元気でたくましい子

令和 8 年2月2日 第14号

## 「子どもは伸びたがっている！」を叶える学校を創造するために

校長 鹿海 裕子

1月23日(金)は日課を変更させていただき、小中一貫での地域連携研修として佐賀大学の達富洋二教授をお招きし、教職員研修を実施しました。日課変更のご理解とご協力、ありがとうございました。

この日は様似町以外の学校からも複数の方が参加され、「子どもは伸びたがっている！」をキーワードに、授業づくりについて学びました。研修の中心にあったのは、すべての子どもたちがもっている「できるようになりたい！」という思いに、私たち教師がどう向き合うかという問いです。

まず大切なのは、学びの基盤となる力を丁寧につけていくことです。その中でも特に重視したいのが、様似小中学校でも重点目標として掲げている「書く」力です。達富先生は、「書く力は書くことを通さないと育成できません」と話されます。書くことは、ただ答えを書く作業だけではなく、考えを整理し、自分の思いを確かめ、相手に伝えるための大切な学習活動です。基盤となる「書く」力をつけ、その力をつかうために、以下のことを確認しました。

- ・日常の授業の中で、音読・視写を続けること
- ・学習の目標にそったモデル(お手本)を示すことを入り口として、「書く」場면을積み重ねていくこと
- ・書くことを日常化し、書く量・質・速さのバランスも意識しながら、子どもたちの力を伸ばしていくこと
- ・書く力がプレゼンテーションのはじまりであること

次に、その基盤となる力をつかいて学ぶについてです。書いたことをもとに考えを深めたり、「なぜだろう」「もっと知りたい」と問いを立てたりすることで、学びは一步先へ進みます。

校長室を訪ねて来る子どもたちと話していると、何気ない会話の中にも子どもたちの「なぜ」「どうして」が溢れ出します。「カメって甲羅とれたらどうなるの？(校長室にいるカメ・・・子どもたちにかわいがってもらっています)」「(窓の外の雪景色を眺めながら)雪はどうやってできるの？どうして白いの？」「どうして理科って勉強するの？(理科が苦手とのこと)」・・・時々、答えに困ってしまう「なぜ」もあって、おもしろいです。

各教科の授業においても、こんな子ども自身がもつ「私の問い」を大切に、教師が一方向的に答えを与えるのではなく、子どもが考え続けられる授業づくりの工夫が必要です。このことについては、来年度の研修においてもさらに深め、日常の授業づくりに活かしていきます。

そして、学びをさらに豊かにするのが対話です。自分の考えを言葉にし、友だちの考えを聞き、自分と比べ、つなげていく中で、子どもたちは新たな気づきを得ていきます。対話はコミュニケーションのはじまりであり、深まりでもあります。「書くこと」と「話すことを」を往復させながら、子どもたちの学びをつないでいくことの大切さを改めて共有しました。

今回の研修を通して、教職員一同、子どもたち一人一人の「できるようになりたい！」という思いに、これまで以上に丁寧に寄り添っていきたいと考えています。基盤となる「書く」力を育て、それを使いこなす、対話を通して学びを深める授業づくりをこれからも進めていきます。

ご家庭でも、お子さんが書いたことや考えたこと、また、日々友達との関わりを通して感じていることに耳を傾けて対話を重ねていただけましたら幸いです。

子どもたちはみんな「できるようになりたがっている」・・・そのことを信じ、「子どもたちは伸びたがっている！」を叶える様似小中学校を保護者の皆様、地域の皆様と一緒に、これからも創造していきます。



# 令和7年度 前期・後期保護者アンケートを受けて 児童の成長につながる取組の推進

12月に保護者の皆様にご回答いただいた「学校アンケート」の結果をまとめました。ホームページにて、ご報告いたします。

前期・後期の2回の結果をもとに教育活動を見直し、教職員の創意工夫によって新たな取組を導入したり、これまでの取組を一部変更して行う計画を立てたりして、より一層、児童の成長につながる教育活動を進めて参ります。

## 学校評価(学校アンケート)を受けて取組が始まっていること

### 【家庭学習の取組】

すでに保護者の方には連絡メール(tetoru)でお知らせしていますが、「家庭学習しっかり週間」と名付けて、家庭学習強化週間を設定しました。その期間は、中学校の期末・学力テスト等の1週間前とし、小中同時に勉強する環境作りにつなげています。更に、学習してきた内容(ノートの写し)を玄関フロアに掲示し、学習内容を見える化させることにより、**家庭学習の習慣化**につなげていきたいと考えています。

ご家庭でも、ぜひ、机に向かう環境作りをお願いします。



### 【体力向上の取組】

冬場は子供達の活動の場が限られ、体を動かす場面が減ってしまいがちになるので、交流スペースを活用し、「体力作りコーナー」を設けました。バランス感覚を育成するために、昨年度カドワキ株式会社様より寄贈いただいた竹馬を積極的に活用できるように「竹馬コース」を作りました。他にも、垂直跳びに挑戦できるスペースや握力計をおいて握力を確認するスペースも用意しました。



## 2月主な行事

- 2日(月) フッ化物洗口
- 3日(火) 3年生おはなし会
- 4日(水) 様中登校  
新入学児童1日入学  
PTA役員会(様中)
- 5日(木) 様中登校  
職員会議
- 6日(金) 様中登校
- 9日(月) フッ化物洗口  
スクールカウンセラー来校  
家庭学習しっかり週間
- 10日(火) 4年生おはなし会  
専門部
- 13日(金) 冬季避難訓練
- 16日(月) フッ化物洗口
- 17日(火) 放課後学習(1~3年)
- 18日(水) 参観日(1~3年)  
5時間授業日
- 19日(木) 職員研修
- 20日(金) 参観日(4~6年)  
5時間授業日
- 25日(水) 放課後学習(4~6年)
- 26日(木) 様小登校
- 27日(金) 5時間授業日

## どうきんの寄付

前回の学校だよりで雑巾の寄付をお願いしたところ、学校に雑巾を届けてくださった方がいらっしゃいました。

**五十地さん(2年)・附田さん(6年)**  
**蝦名さん(地域)・ボランティアアボイさん(地域)**

**とても助かりました。ありがとうございます。**

雑巾は、いつでもご寄付をお待ちしていますので、今後ともご協力をお願いいたします。

また、雑巾ではなくタオル(学校で雑巾にすることが出来るため)のご寄付もありがたいです。どうぞ、よろしくお願いいたします。